

- 電気自動車等(EV)・マルチメディア機器・家庭用電気機器等を簡便に充電する手段であるワイヤレス電力伝送システム(WPT)について、近年、実用化や国際標準化に向けた取組が活発化。
- CISPRにおいては、WPTから発せられる漏えい電波が既存の無線設備に妨害を与えることのないよう、B小委員会（EV用WPT）、F小委員会（家庭用電気機器用の誘導式給電機器（IPT））及びI小委員会（マルチメディア用WPT）において、それぞれ検討が行われている。
- 我が国は、検討のために設立されたアドホックグループにおいてリーダーを務めるなど、審議を主導。

B小委員会：ISM（工業・科学・医療）機器、電力線及び電気鉄道等からの妨害波に関する規格を策定

1) 審議状況・対処方針

- EV用WPTについて、アドホックグループのリーダーを我が国のエキスパートが務め、CISPR11「工業、科学、医療用装置からの妨害波の許容値と測定法」の改定について検討を行っている。
- 我が国は、共用検討に基づく国内制度と整合する許容値原案を支持しているが、スイス・米等が、多様な製品を許容できるように、住宅環境に適するクラスBのWPTの妨害波許容値を、原案の67.8dB μ A/mから、15dB緩和した82.8dB μ A/mに修正すべきと主張。
- 本年5月のテジョン中間会議において、無線保護(電波時計、鉄道無線、自動車盗難防止システム等)及び技術的な実現可能性の観点を踏まえ議論を行った結果、以下のとおり、WPTの出力や周囲環境によって異なる許容値を適用する案がCDVとして発行されることとなった。
 - ▶ 1kW<出力 \leq 7.7kW：原則は原案許容値(67.8dB μ A/m)。ただし、出力3.6kW以上のものについては距離10m以内に感度の高い装置がない場合には、緩和許容値を適用できる。
 - ▶ 7.7kW<出力：原則は緩和許容値(82.8dB μ A/m)。ただし、距離10m以内に感度の高い装置がある場合には、原案許容値を適用しなければならない。
- 現在までの議論が正確に報告されているか確認することとしていた。

2) 審議結果

アドホックグループのリーダーを務める我が国のエキスパートより、AHG4の年間活動報告を行った。これに対し、欧州放送連合（EBU）より、高調波許容値の緩和により放送波に対する干渉が懸念されるとの意見が表明された。

各小委員会における審議状況と対処方針（B小委員会）

B小委員会：ISM（工業・科学・医療）機器、電力線及び電気鉄道等からの妨害波に関する規格を策定

- 1 太陽光発電用装置以外の系統連係電力変換装置（GCPC）及び系統に連結されない直流（DC）/直流（DC）電力変換装置に関する要件

1) 審議状況・対処方針

- 太陽光発電用の系統連係電力変換装置（GCPC）の直流（DC）電源ポートの許容値の適用対象として、蓄電池に接続するDC電源ポートを有するGCPC等を追加する検討が行われている。
- アドホックグループのリーダーを我が国のエキスパートが努め、議論を主導している。
- 本年5月、委員会原案（CD）及び各国コメントが検討された結果、DC電源ポートに接続されるケーブルの長さを基準にした測定条件の追加等の修正変更が行われた、投票用委員会原案（CDV）が9月に配布された。

2) 審議結果

アドホックグループリーダーを務める我が国エキスパートより進捗状況を報告し、平成30年1月のアドホックグループ（AHG3）において、CDV投票結果及びFDISに対する追加変更について協議することとなった。

2 技術報告書CISPR/TR 26「電気鉄道システムの妨害波特性」の策定

1) 審議状況・対処方針

- 我が国より、最新の振幅確率分布（APD：時間的な統計量であり、デジタル方式の無線通信における誤り率への影響の評価に有効とされる）測定技術の追加を提案し、IEC/TC9との調整を行ってきた。
- しかし、昨年、海外ではAPDによる走行列車の測定評価事例がほとんどないため、次期改定に先送りとなった。我が国としては、今後1～2年間に測定データを蓄積した上で、提案を行う予定であることを説明した。

2) 審議結果

APDを活用した鉄道向けの測定評価法に関する新規作業を準備中という我が国の意向がメンバーに周知された。

3 WG2の解散に関する議論

1) 審議状況・対処方針

昨年、プロジェクトがないのでWG2を解散すべきとの提案があり、引き続き検討することとなり、WG2において新規業務項目が設定される見込みがない場合は、解散に反対しない方向で臨むこととしていた。

2) 審議結果

韓国より、2件の新規プロジェクトが提案され、来年の総会の前に、韓国にて中間会合を開催することとなった。